

**2024年度
松商短大学生調査
(1-2年)
集計結果**

松商短大学生調査について

これまで実施していた学修行動調査と卒業時アンケート、在学生アンケートを見直し、新たに「松商短大学生調査」として実施した調査の1・2年生の回答をまとめた。

学修環境の実態把握と、学生生活の満足度、ディプロマ・ポリシーの達成実感などを聞き取った。設問の一部には全国学生調査（第4回施行実施）の調査項目を含んでいる。

対 象：2024年度1年177名、2024年度2年166名 計343名 ※いずれも休学者を除く

調査方法：WEBによるアンケート

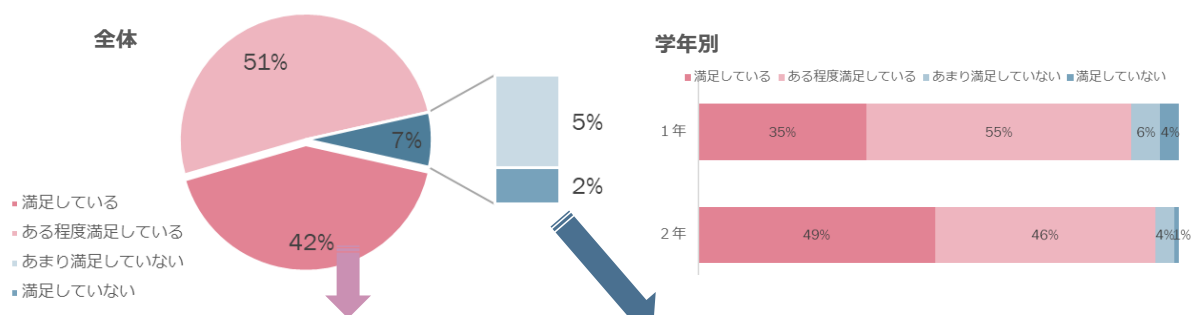
調査期間：2025/1/14～2025/2/18

回答者数：1年148名、2年146名 計294名 回答率：85.7%（1年83.6%、2年88.0%）

結果の概要

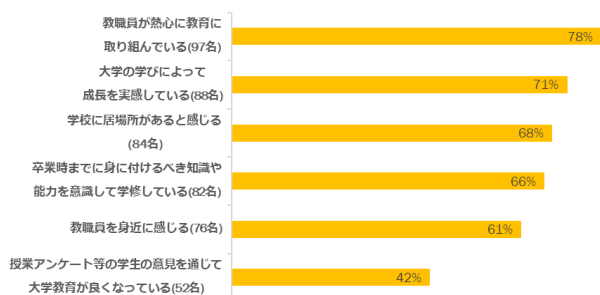
1. 学生生活全体の満足度

学生生活に「満足している」「ある程度満足している」と答えた学生は93%と非常に高い満足度となった。また「満足している」に限って見ると、1年35%、2年49%となっており、2年生の満足度が特に高かった。



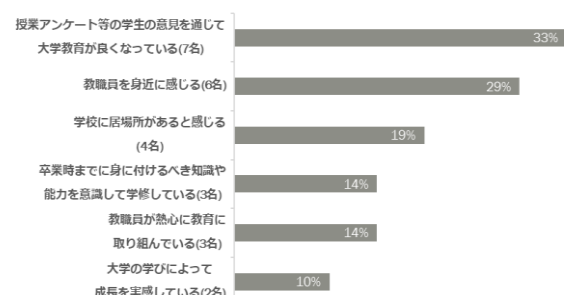
満足度に影響するプラスの要因

「学生生活全体の満足度」において「満足している」と回答した学生42%（124名）のうち、これまでの学び全体を振り返って次の項目について「**そう思う**」と答えた学生の割合を確認した ※「ある程度そう思う」は含まない



不満足度に影響するマイナスの要因

「満足していない」「あまり満足していない」と回答した学生7%（21名）のうち、これまでの学び全体を振り返って次の項目について「**そう思わない**」と答えた学生の割合を確認した ※「あまりそう思わない」は含まない



「教職員が熱心に教育に取り組んでいる」と感じる事が学生生活の満足度に強く影響していることがわかる。「学びによる成長実感」「居場所があると感じる」ことも満足度を上げる要因となっている。一方で不満足層においては、「学生の意見を通じて大学教育が良くなっている」と思わない、「教職員を身近に」感じないことが、満足度を下げている傾向として見えた。

2. 地域と関わる活動

地域に愛着を持っている…そう思う・ある程度そう思う 計94%

地域と関わる活動に興味・関心がある…そう思う・ある程度そう思う 計79%

地域と関わる活動に主体的に参加している…そう思う・ある程度そう思う 計35%

地域活動に参加する機会…よくあった・ある程度あった（ゼミを除く）授業28% ゼミ36% 授業以外21%

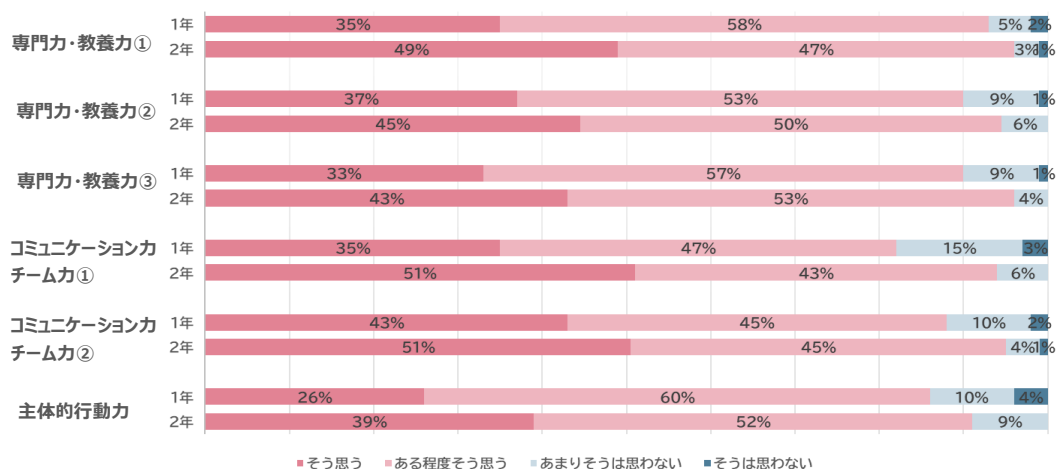
県内出身の学生が集まる松商短大は地域への興味・愛着がある一方で、地域と関わる活動に主体的に参加している学生は少ない。地域活動に参加する機会がない理由は、「時間がない」「何をしたいかわからない」を引き離して「機会がない」が突出し66%となった。地域と関わる活動で得られたものは「コミュニケーション能力の向上」などディプロマ・ポリシーにも関連する力であることから、「やりたい気持ちはある」ものの機会がない学生への組織的なサポートが求められる。

3. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力（DP）の修得度

短大で修得を目指す知識や能力、スキルや態度（DPで掲げる学修成果）について、学生生活によってどの程度できるようになったかを聞いた。グラフの冒頭に記載している能力は、学修成果を短く言い表した言葉＝松大学士力＝である。

松大学士力の達成度に関する質問	
【DP1】専門力・教養力①	：基礎的な知識や技術を、実社会の職業や生活に結びつけて理解することができる
【DP1】専門力・教養力②	：専門的な知識や技術を、実社会の職業や生活に結びつけて理解することができる
【DP1】専門力・教養力③	：幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結びつけて理解することができる
【DP2】コミュニケーション力・チーム力①	：身につけた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることができる
【DP2】コミュニケーション力・チーム力②	：複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる
【DP3】主体的行動力	：実社会を意識し、身につけた知識や技術に関心を持ち続け、主体的に行動することができる

松大学士力が身に付いたと思うかとの質問に対し、「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した学生は1、2年ともにすべての項目で8割以上となり、項目によるばらつきも少なかった。特に2年ほどのDPでも身に付いた実感が9割を超えた。「そう思う」の回答に限ってみると1、2年で差があったのは【DP2】コミュニケーション力・チーム力①で、2年51%に対し1年35%と16ポイントの差がみられた。

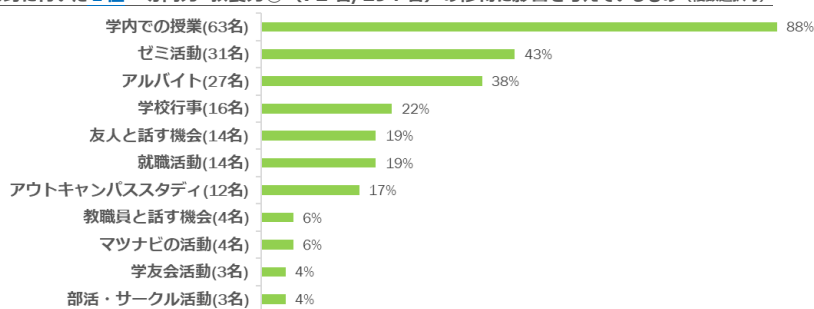


▶卒業時まで身に付けるべき知識や能力の修得に影響を与えているもの

これまでの学生生活で最も身に付いたと思う能力は、1、2年ともに「専門力・教養力①」を選んだ学生が最も多く、次いで「コミュニケーション力・チーム力①」、「専門力・教養力②」となった。一方で身に付いた実感が最も低いのは「主体的行動力」だった。

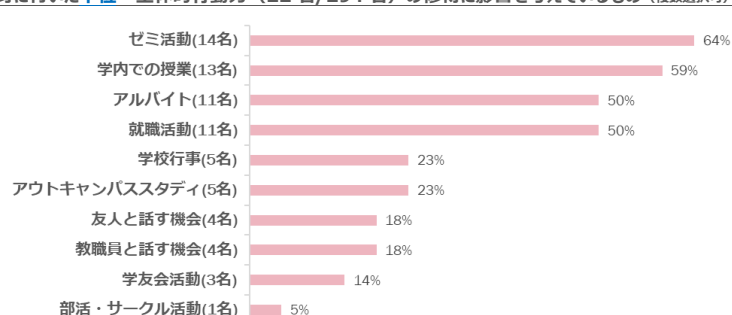
下図は、「その知識や能力を身に付けるのに影響を与えているもの」を選択する質問（複数選択可）において、身に付いたと思う能力で最も高かった「専門力・教養力①」と、最も低かった「主体的行動力」に、何が影響を与えているのかを確認したものである。

最も身に付いた1位…専門力・教養力①（72名/294名）の修得に影響を与えているもの（複数選択可）



▶専門力・教養力①の修得に影響する要素は「学内での授業」が突出し、「ゼミ活動」「アルバイト」が続いた。授業と実社会との接点が効果的に影響しているようだ。また、どのDPにおいても授業・ゼミを選んだ学生が最多となり、DPの能力が授業で伸ばせる、カリキュラムの強みが読み取れた。

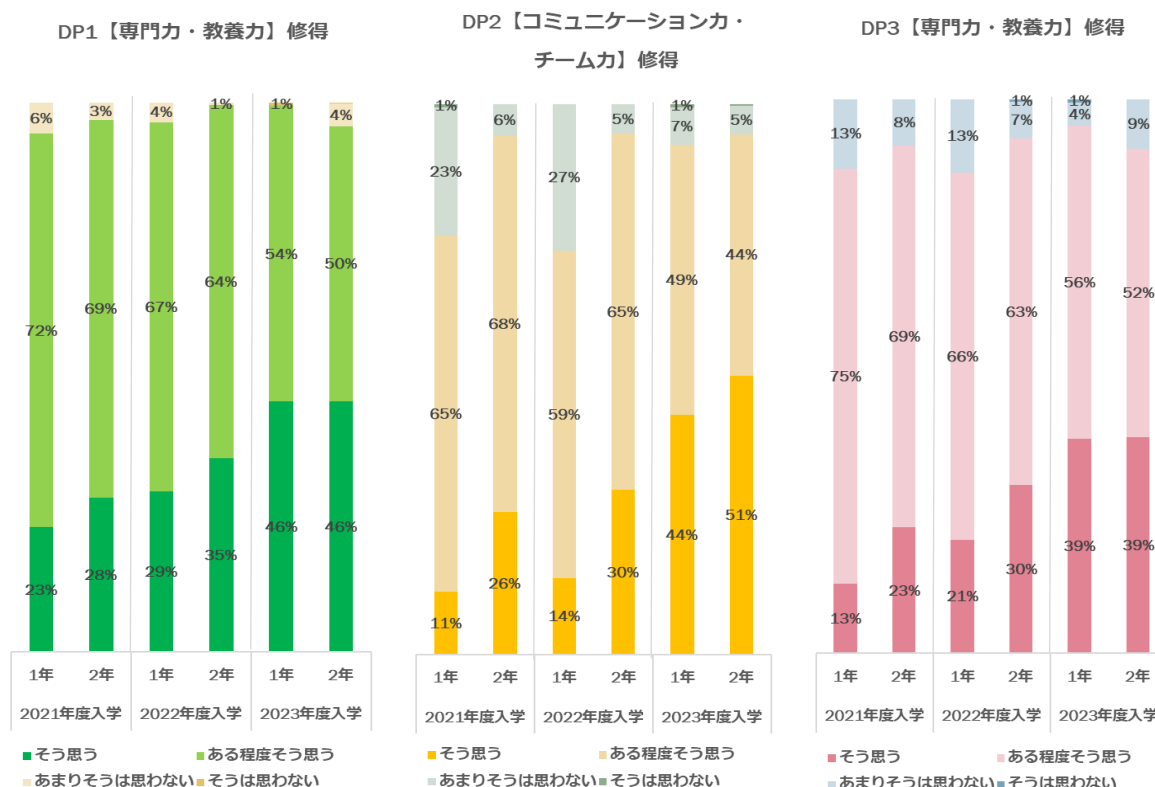
最も身に付いた下位…主体的行動力（22名/294名）の修得に影響を与えているもの（複数選択可）



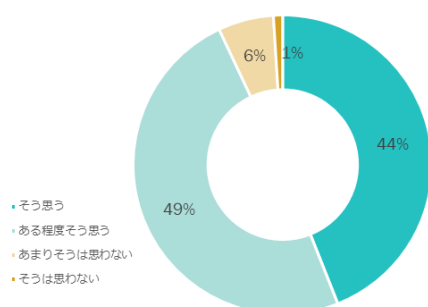
▶身に付いた実感の低い「主体的行動力」について、その能力の修得に影響する要素は「ゼミ活動」、「学内での授業」、「アルバイト」、「就職活動」が50%を超えた。主体性を伸ばすには、ゼミに積極的に参加する経験や、実際に社会で働くことを意識する経験が重要そうだ。

▶ DP 修得度の推移

1 年から 2 年にかけての DP 修得度の伸びがあるか、入学年度ごと過去 3 年間で比較した（下図）。松大学士力「専門力・教養力」①～③を【DP1】、「コミュニケーション力・チーム力」①②を【DP2】、「主体的行動力」を【DP3】として比較している。どの DP に関しても、学年進行により「そう思う」の割合が伸びている傾向がみられた。

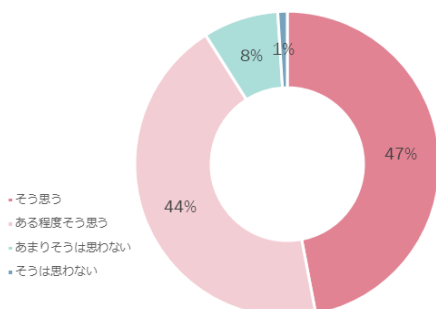


▶「卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している」



「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した学生は、合計で 93%。（学年別では 1 年 91%、2 年 95%）
特に「そう思う」と感じている 44%は、同じ学生調査で学部生が同 30%であったことと比較しても高い。短大生活を送るに当たり、DP を意識して学修していることがわかる結果となった。

▶「短大の学びによって成長を実感している」



「そう思う」「ある程度そう思う」が 91%と、短大の学びを通じた成長実感が高くなっている。「そう思う」と感じている学生は全体では 47%。学年別では 1 年が 41%、2 年が 53%となっており、学年進行によって成長実感が上昇していた。

【主な設問項目】

▶ 学生生活について	5
▶ 地域と関わる活動について.....	6
▶ 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間について.....	8
▶ 大学に入ってから受けた授業について	8
▶ 大学在学中に経験したことについて.....	9
▶ 大学教育を通じて身に付いた知識や能力などについて.....	10
▶ 大学教育を通じてもっと身に付けたかった知識や能力などについて.....	11
▶ 卒業時まで身に付けるべき知識や能力（ディプロマ・ポリシー）の達成度について.....	12
▶ これまでの大学での学び全体を振り返って.....	14
▶ 大学生活の満足度について.....	15

※自由記述は除く

回答率

85.7%

学年	学科	在籍者数	回答者数	回答率
1	経情	89	72	80.9%
1	商	88	76	86.4%
2	経情	85	71	83.5%
2	商	81	75	92.6%
合計		343	294	85.7%

※在籍者数：休学者は除く

性別

☐ 女性

☐ 男性

学科

☐ 商

☐ 経情

☐ (空白)

学年

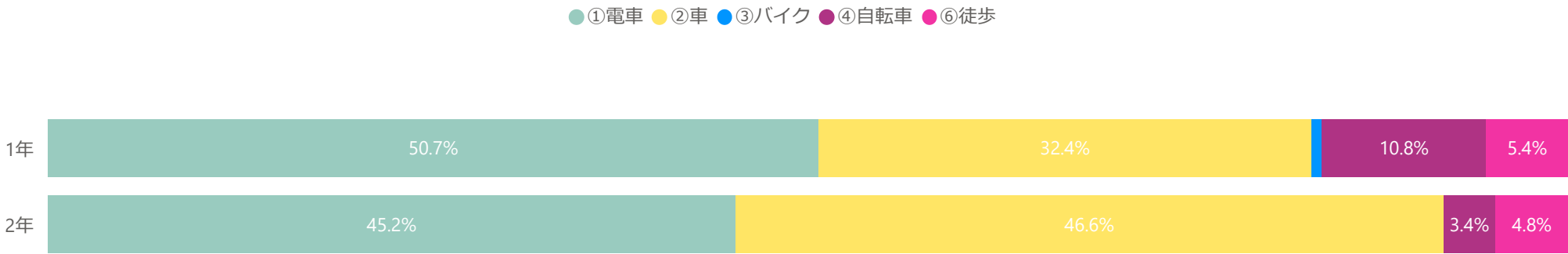
☐ (空白)

☐ 1年

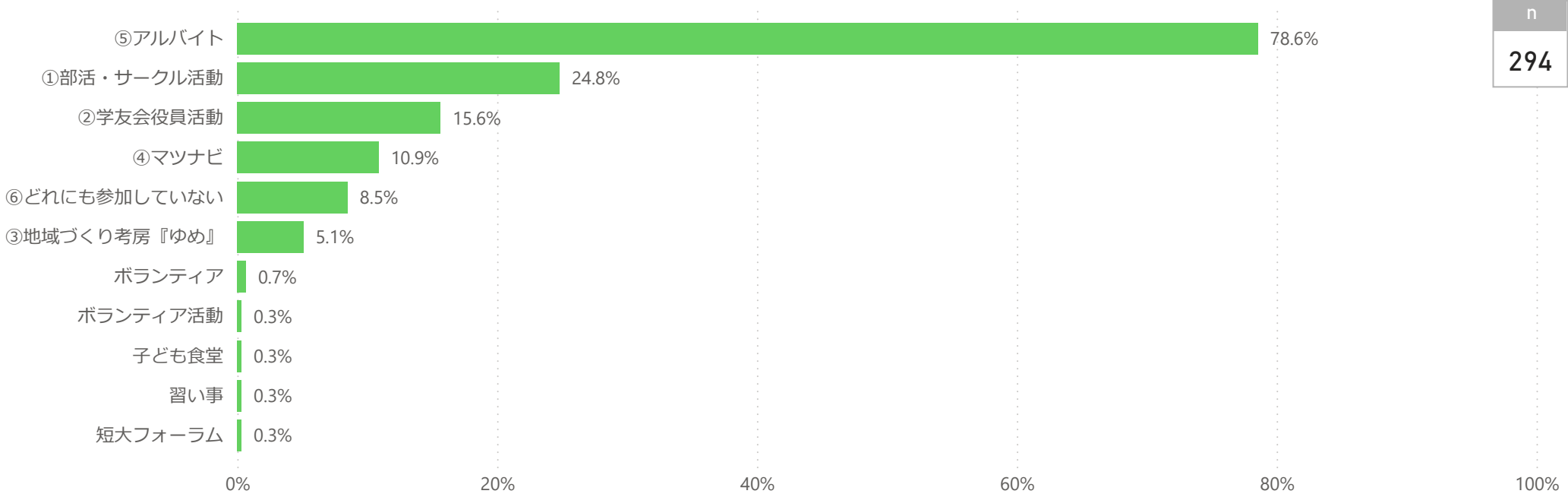
☐ 2年

▶あなたの学生生活について教えてください。

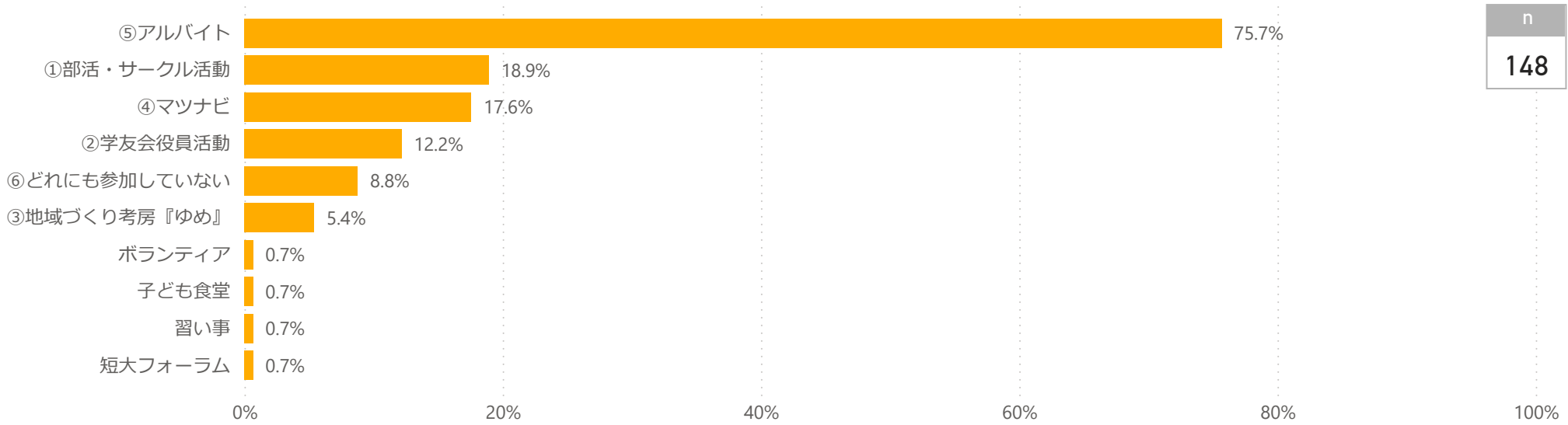
主な通学の方法を教えてください



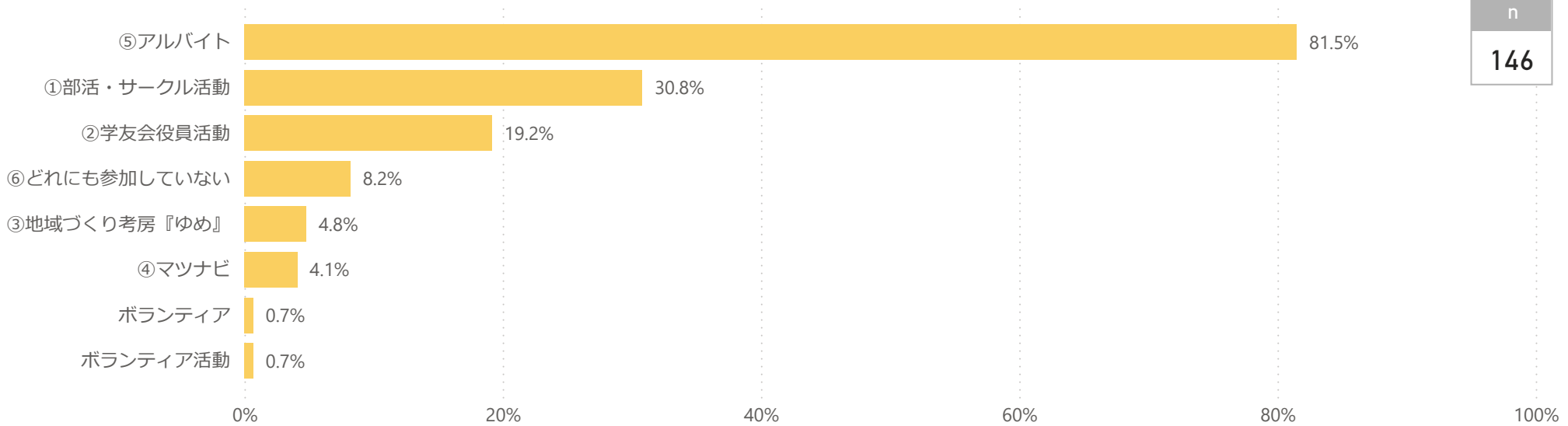
課外活動について伺います。これまでの学生生活で加入したことのある組織や活動を選択してください。（複数選択可）



1年

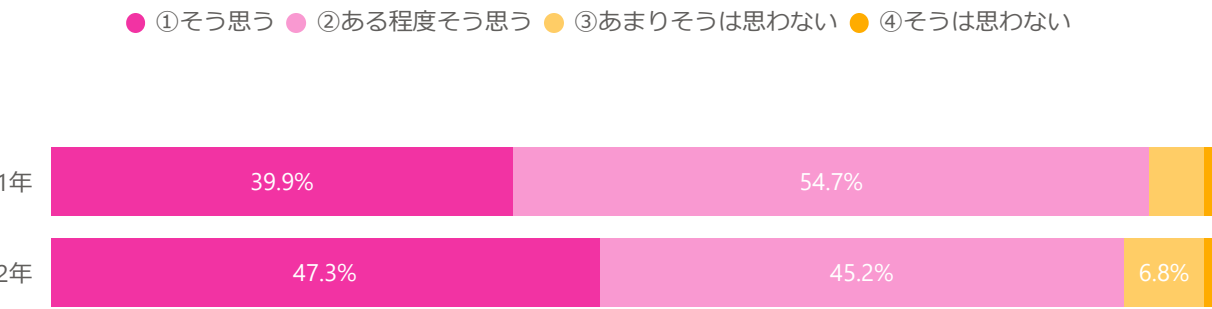


2年

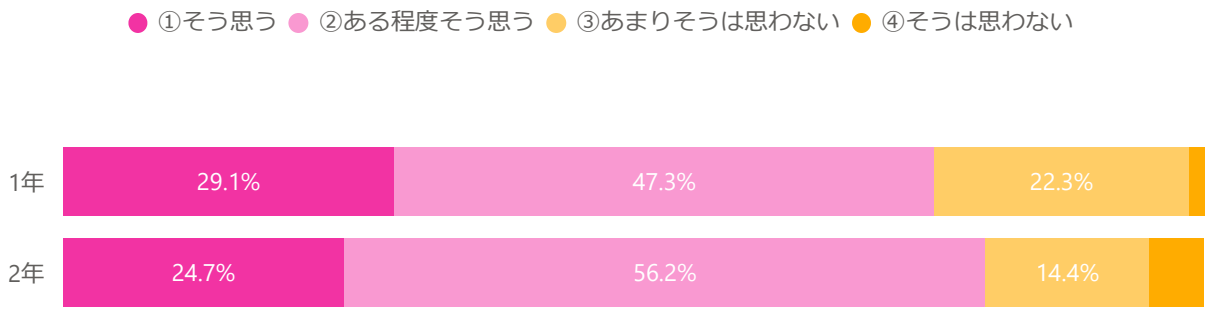


▶地域と関わる活動について教えてください（ここでの地域は長野県内をイメージしてください）

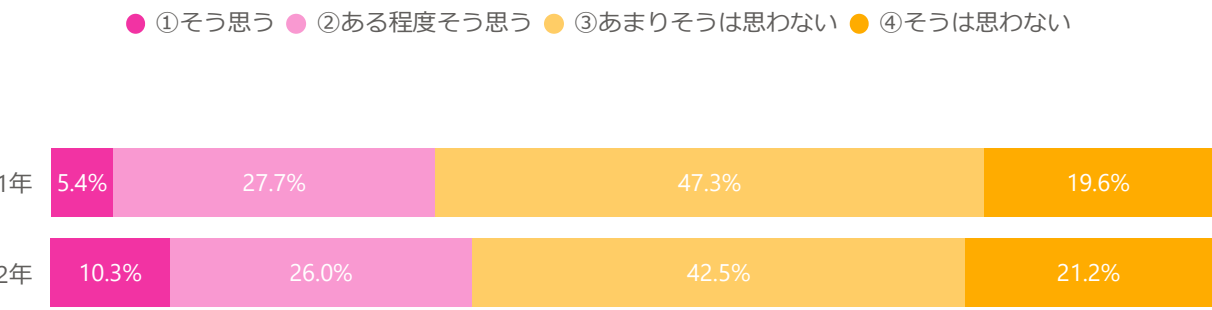
この地域に愛着を持っていますか



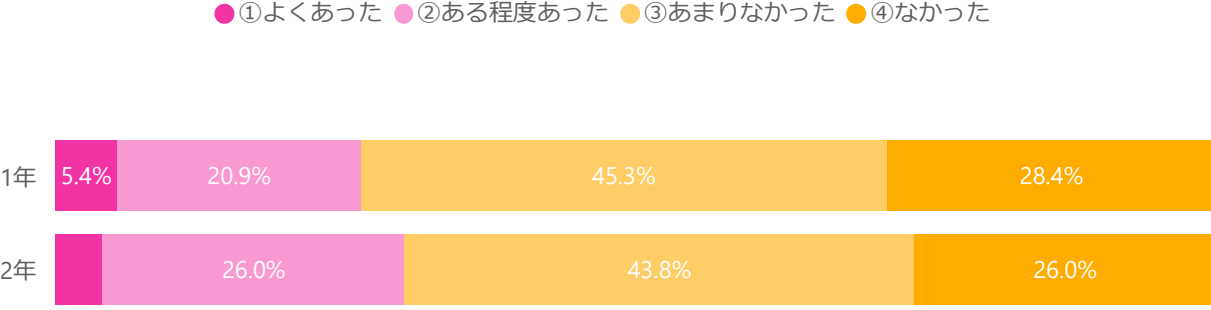
地域と関わる活動に興味・関心がありますか



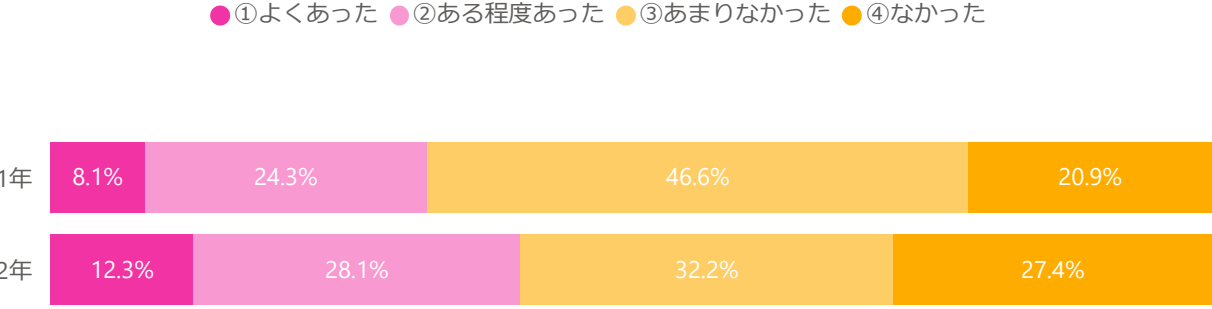
地域と関わる活動に主体的に参加していますか



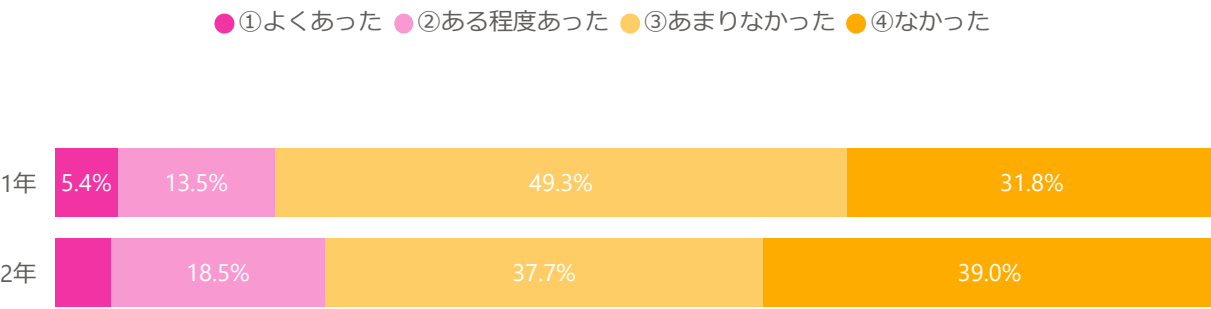
授業（ゼミ活動は除く）で地域と関わる活動に参加する機会はどのくらいありましたか



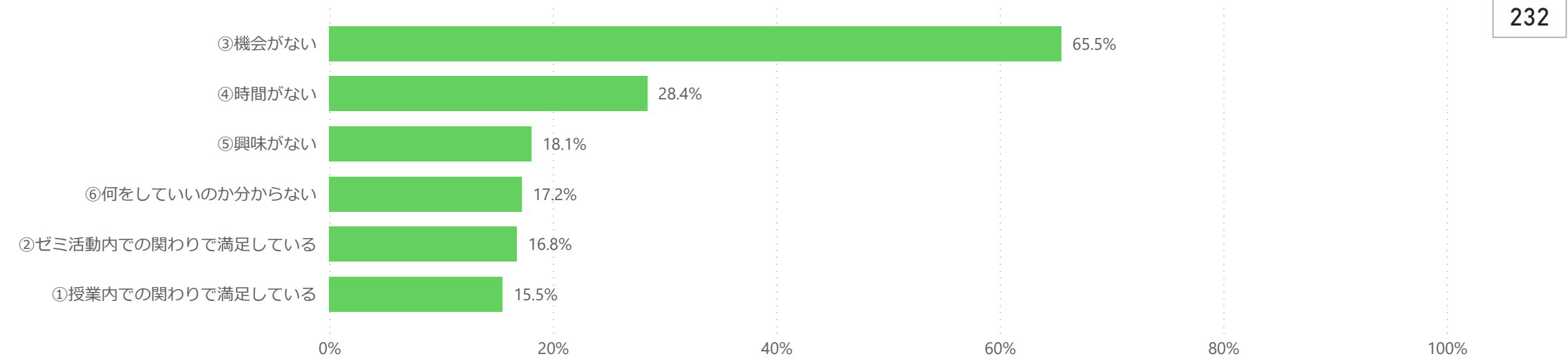
授業（ゼミ活動）で地域と関わる活動に参加する機会はどのくらいありましたか



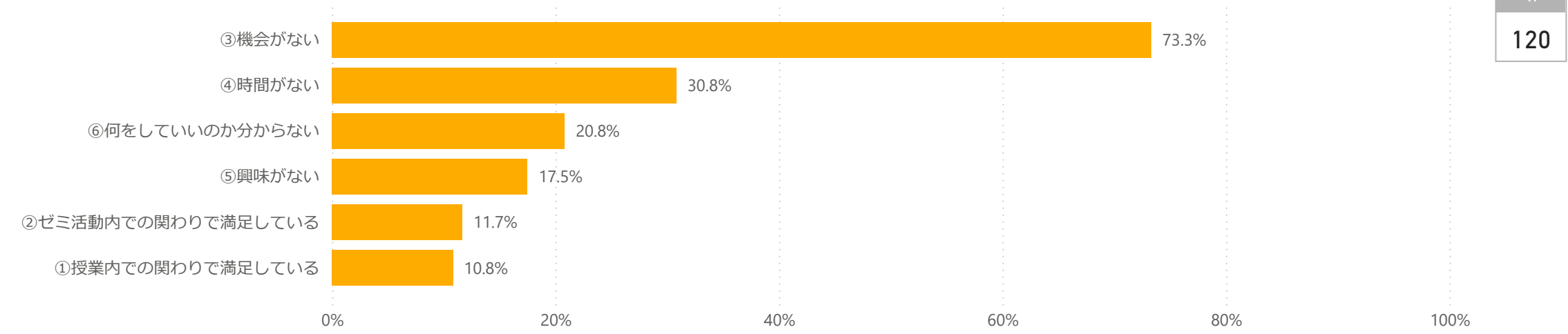
授業以外で地域と関わる活動に参加する機会はどのくらいありましたか



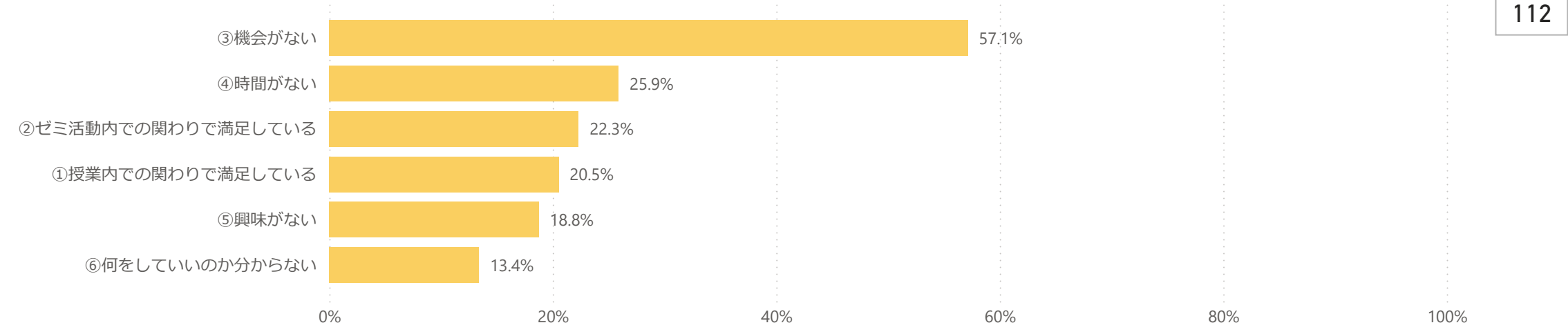
上記設問で参加する機会が「あまりなかった」・「なかった」と回答した人は、その理由を教えてください。（複数選択可）



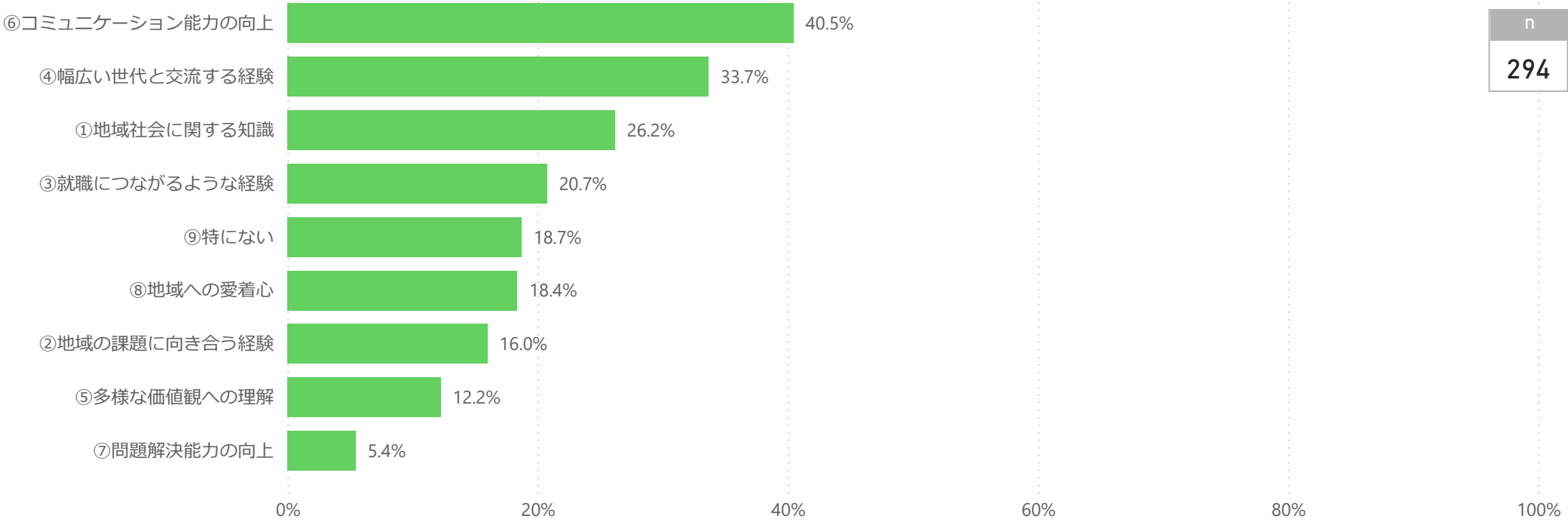
1年



2年



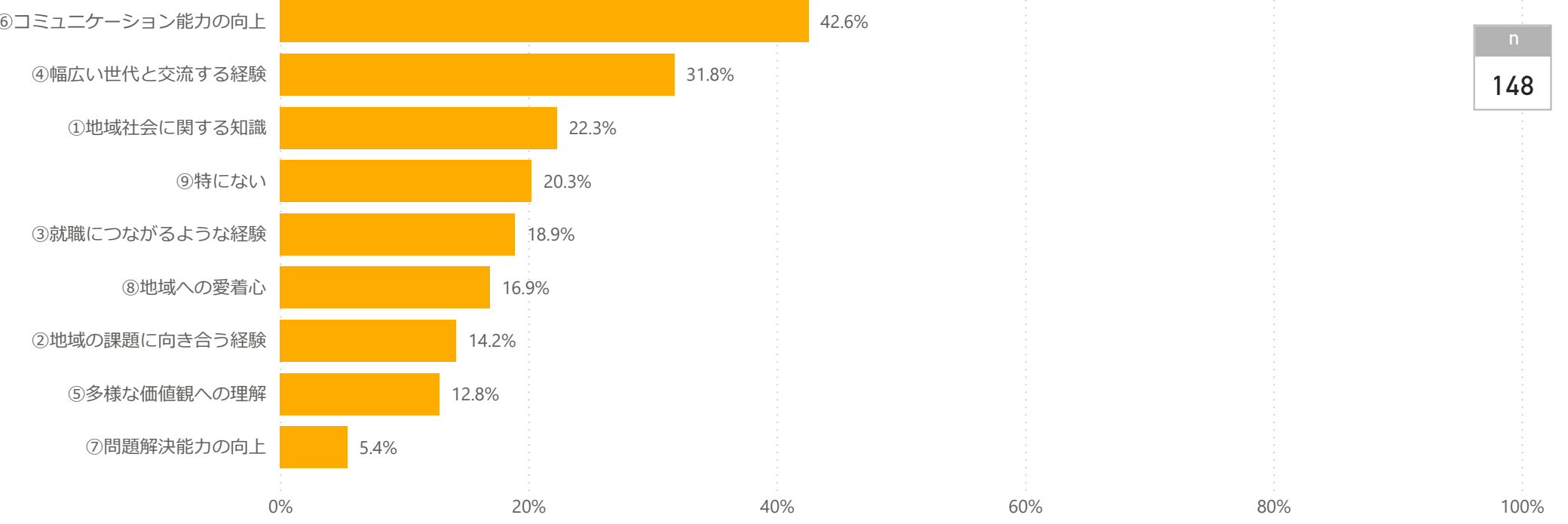
地域と関わる活動を通して得られたものを選んでください（複数選択可）



n
294

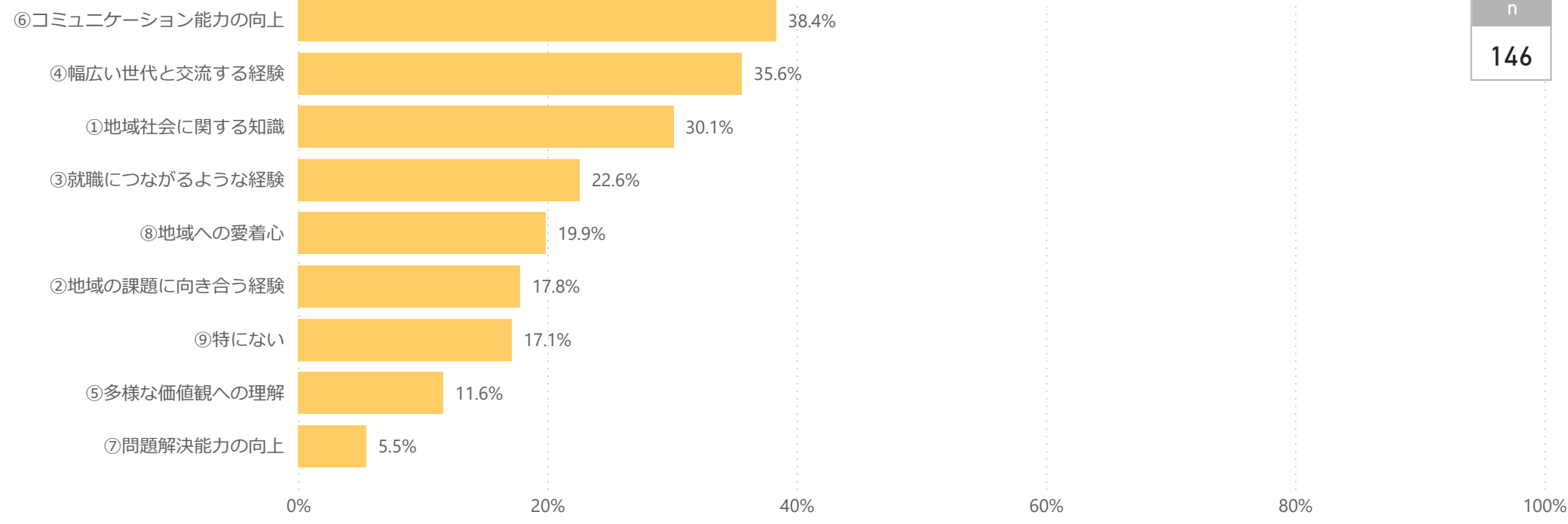
学科
商
経情
(空白)

1年



n
148

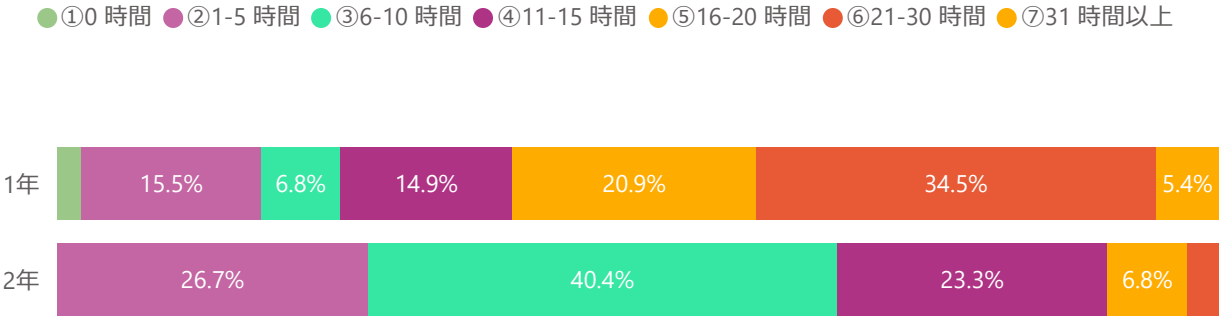
2年



n
146

▶今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか

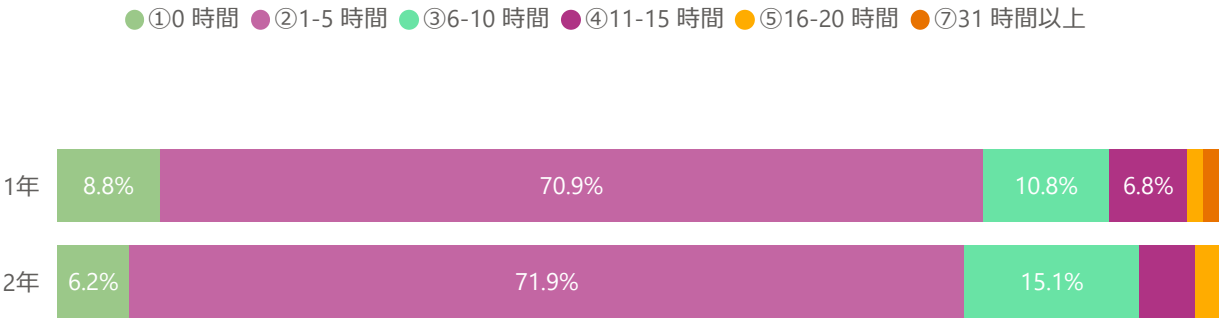
授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



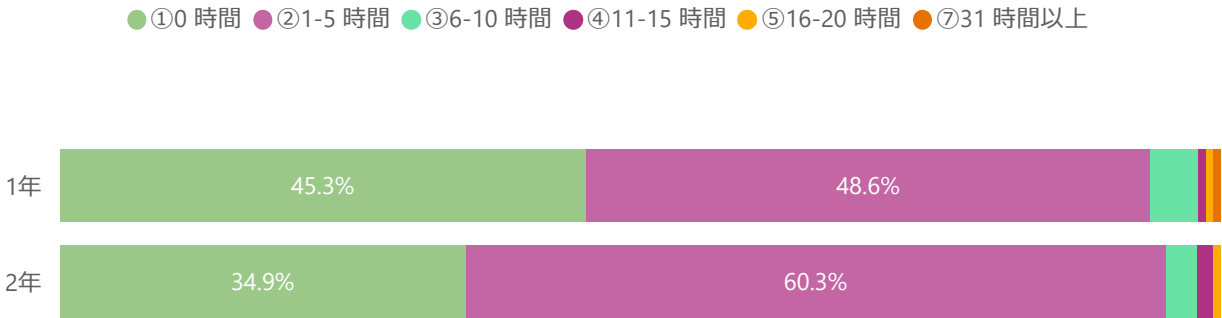
卒業論文・卒業研究・卒業制作（2年生のみ）



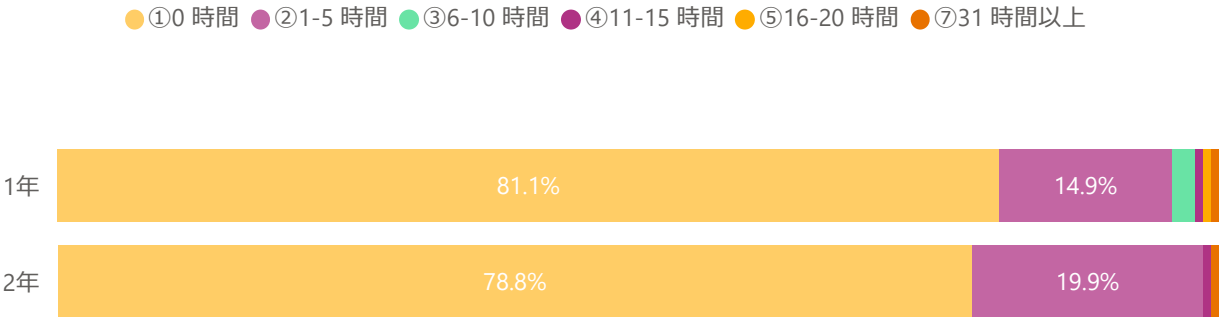
予習・復習・課題など授業に関する学習



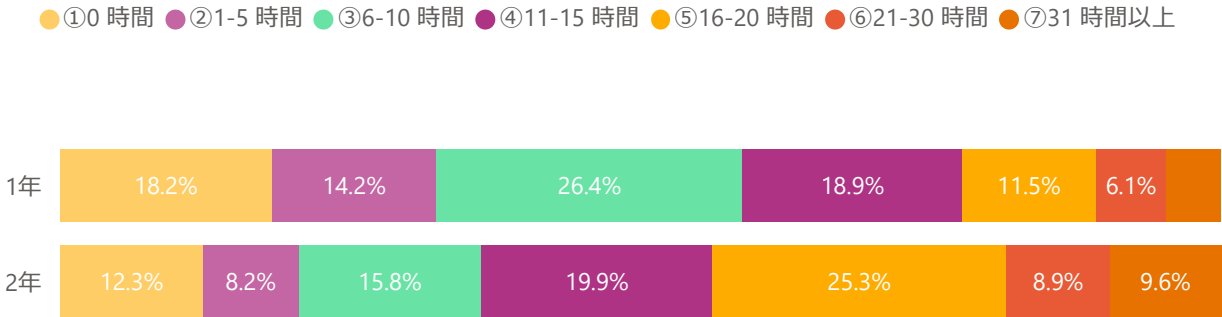
授業と直接関係しない自主的な学習



部活動・サークル活動

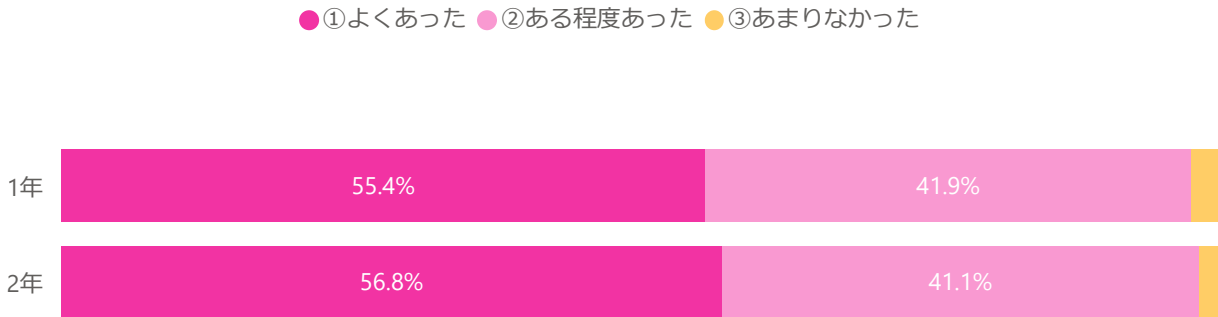


アルバイト／定職

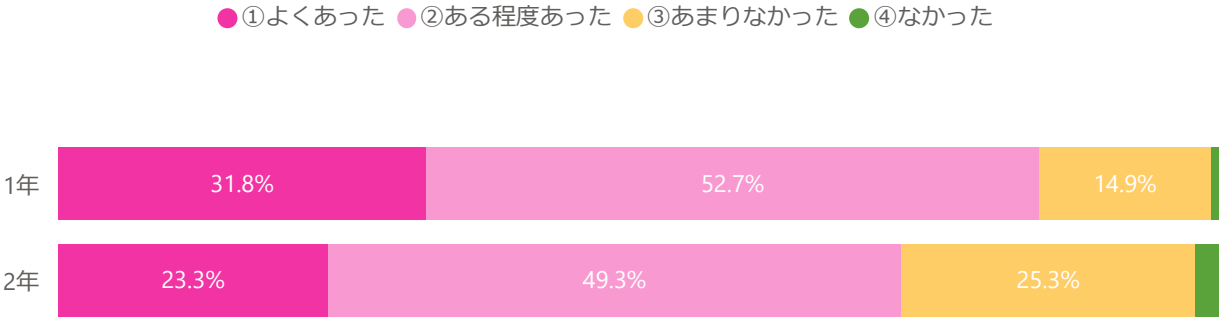


▶大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

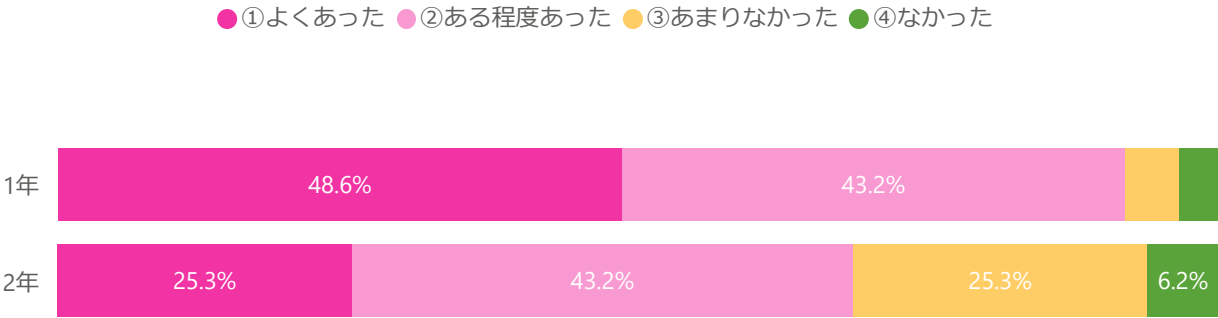
理解がしやすいように教え方が工夫されていた



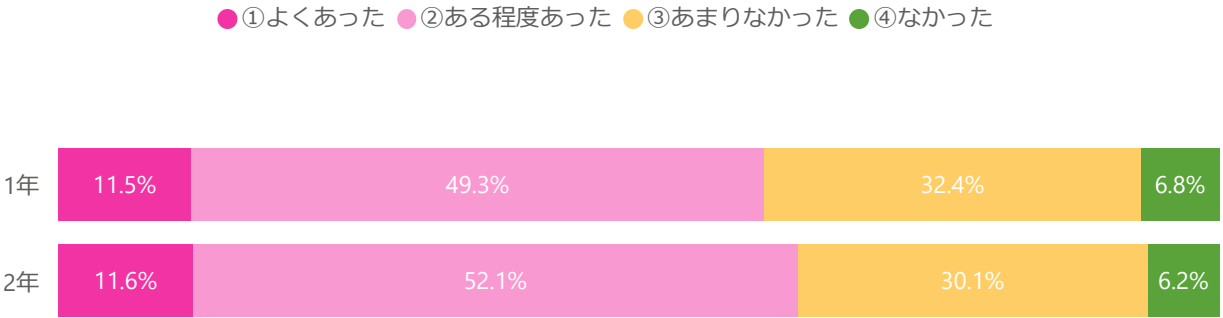
予習・復習など授業時間外に行うべき学習が支持される



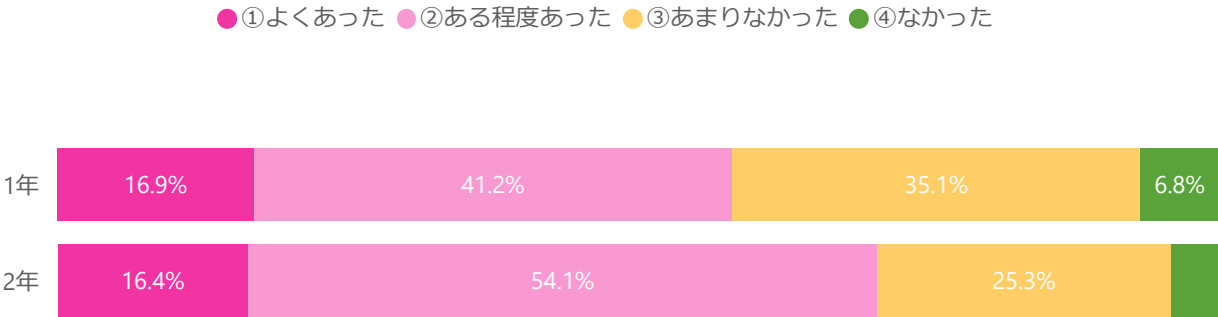
課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される



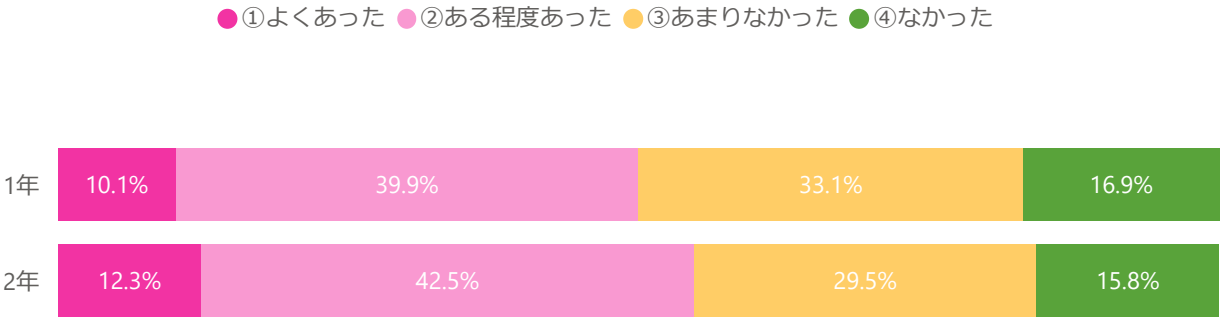
グループワークやディスカッションの機会がある



質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある

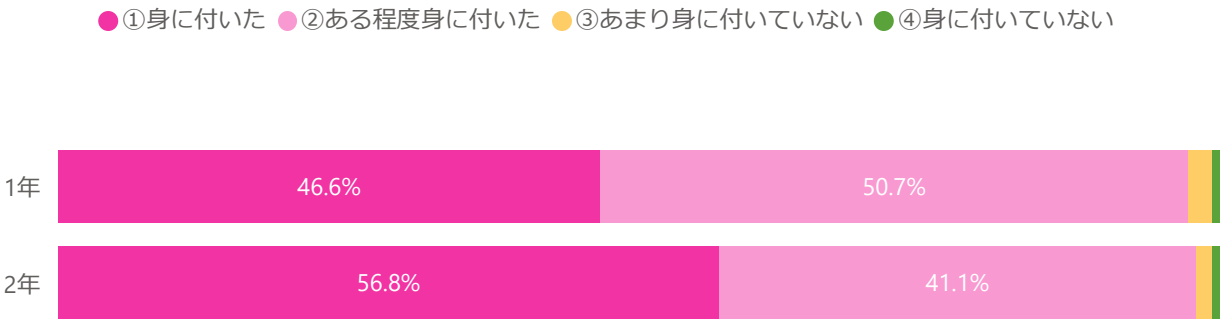


ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある

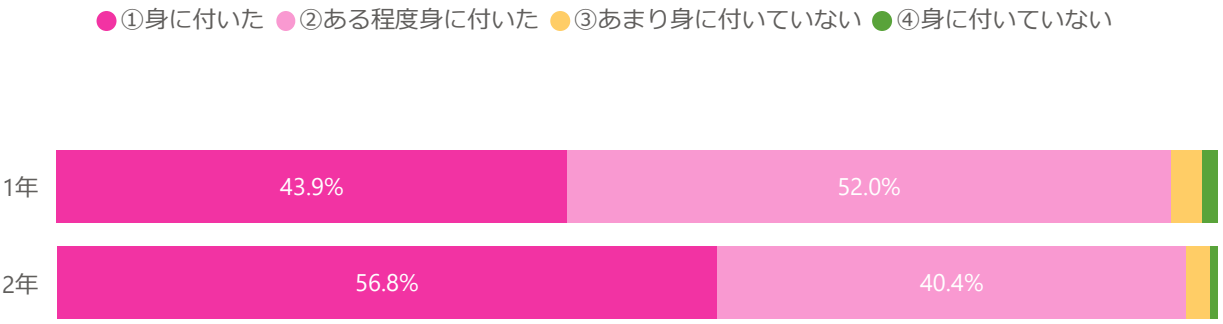


▶大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

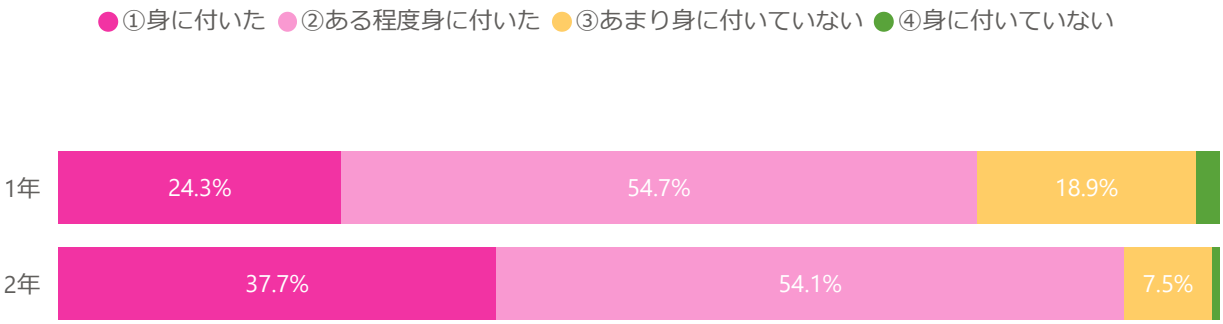
専門分野に関する知識・理解



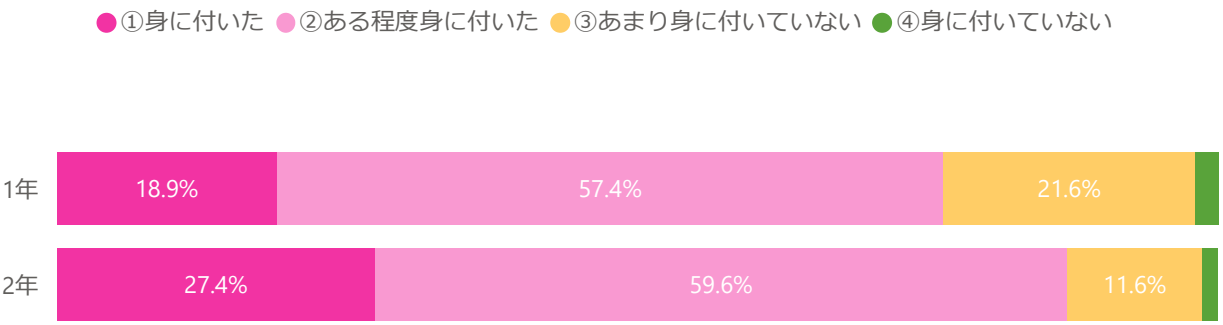
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



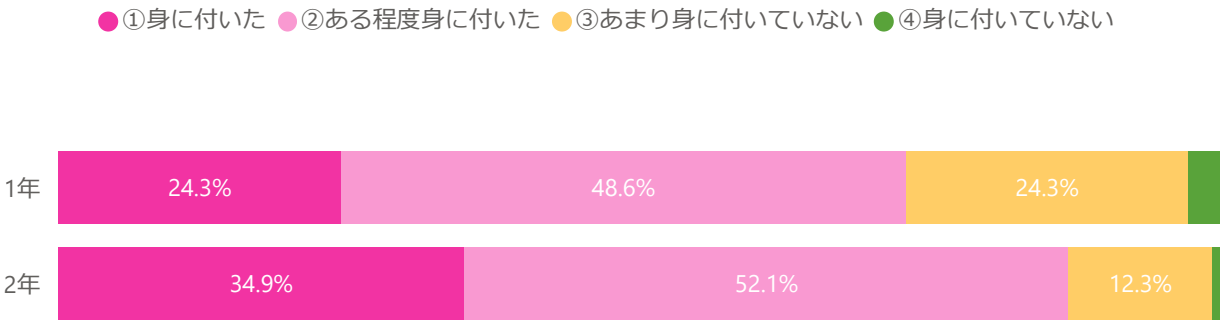
文献・資料を収集・分析する力



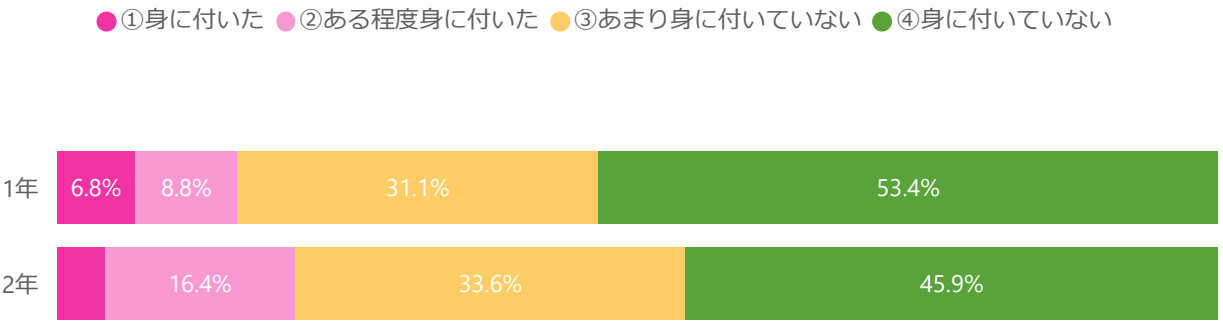
論理的に文章を書く力



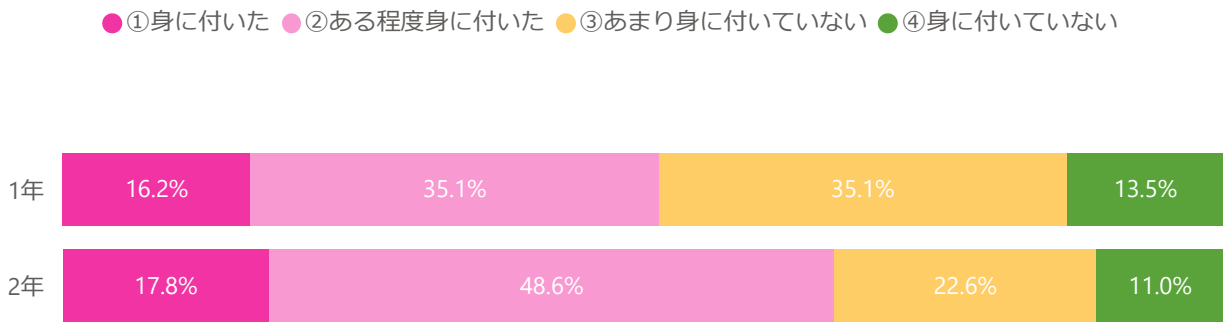
人に分かりやすく話す力



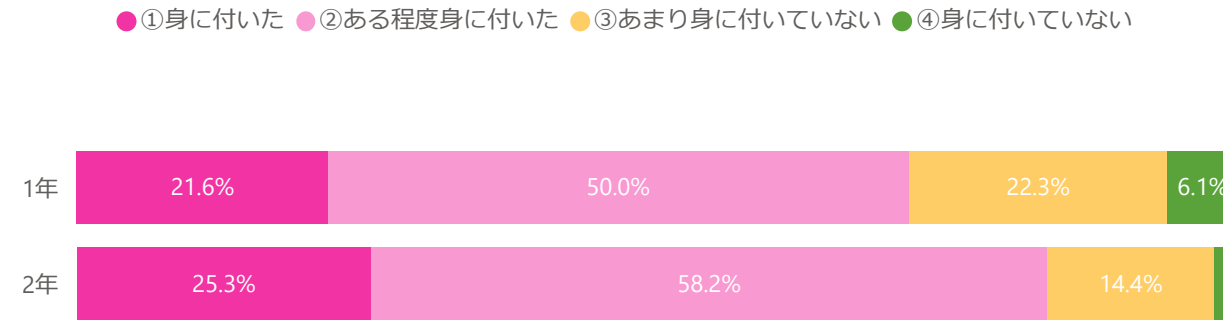
外国語を使う力



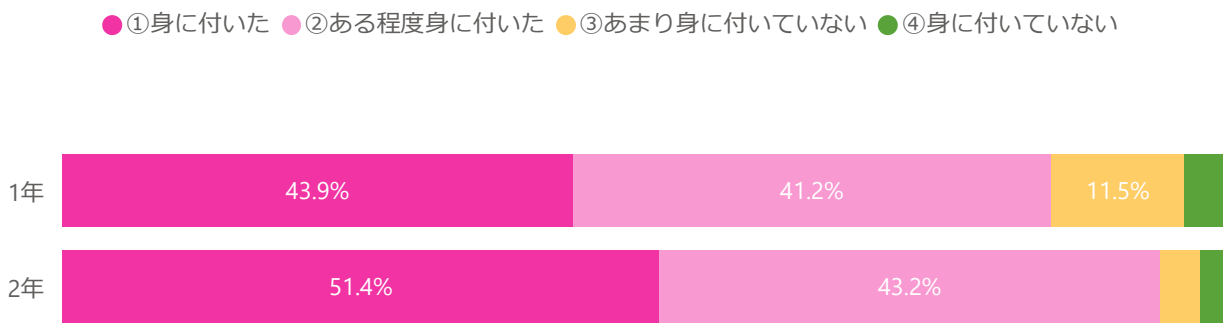
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



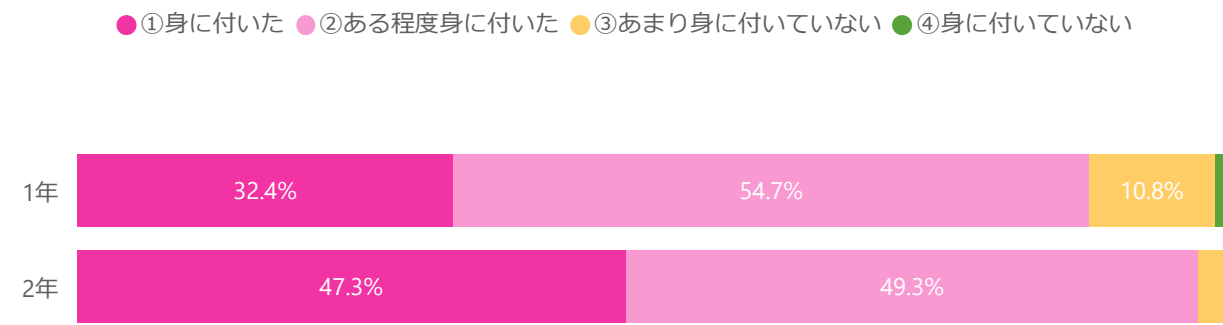
問題を見つけて解決方法を考える力



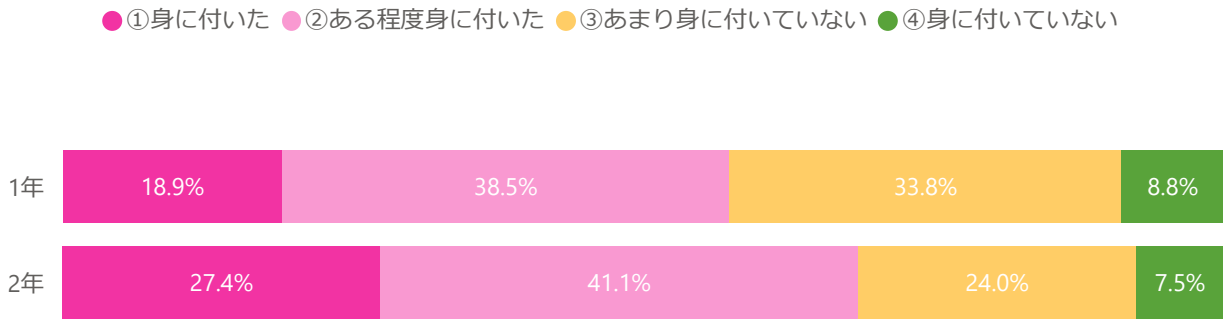
他者と協働する力



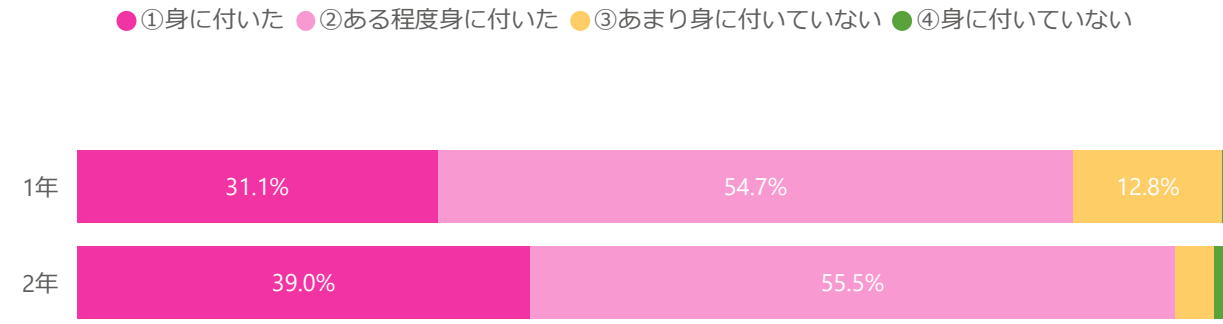
幅広い知識、ものの見方



異なる文化に関する知識・理解



自ら判断し、行動できる能力（主体性・実行力）



▶大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。

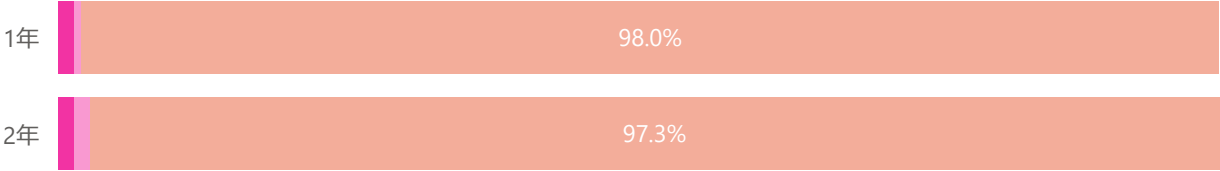
インターンシップ（5日間以上）

①有用だった ②ある程度有用だった ③あまり有用ではなか... ④有用ではなか... ⑤経験していない



海外留学・海外研修（短期も含む）

①有用だった ②ある程度有用だった ③あまり有用ではなか... ④有用ではなか... ⑤経験していない



主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）

①有用だった ②ある程度有用だった ③あまり有用ではなかった ④有用ではなかった ⑤経験していない



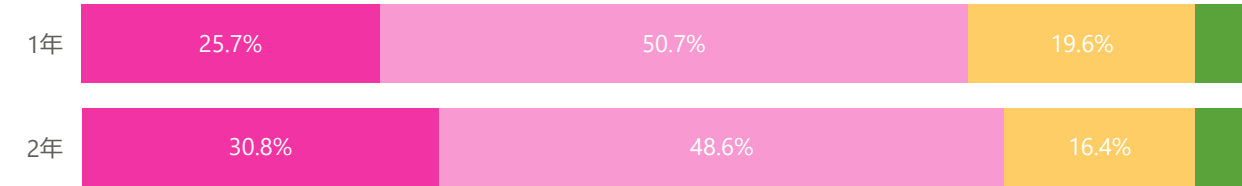
選択必修科目での出席レポート

①有用だった ②ある程度有用だった ③あまり有用ではなかった ④有用ではなかった

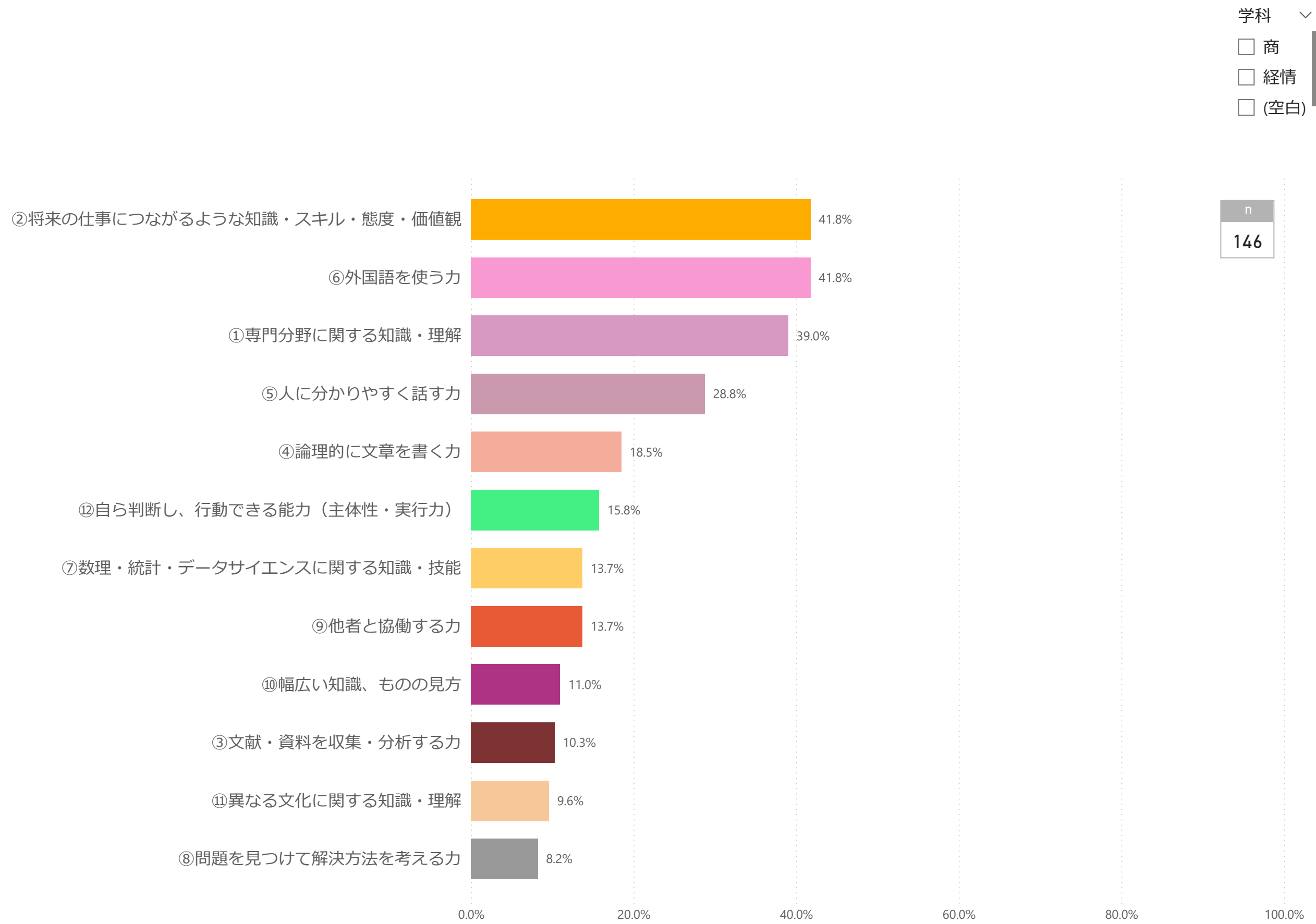


1年次の「アカデミックリテラシー」の中で行われた初年次教育（ノートの取り方、テキストの読み方、要約の仕方、図書館の利用、レポートの作成など）の内容

①有用だった ②ある程度有用だった ③あまり有用ではなかった ④有用ではなかった



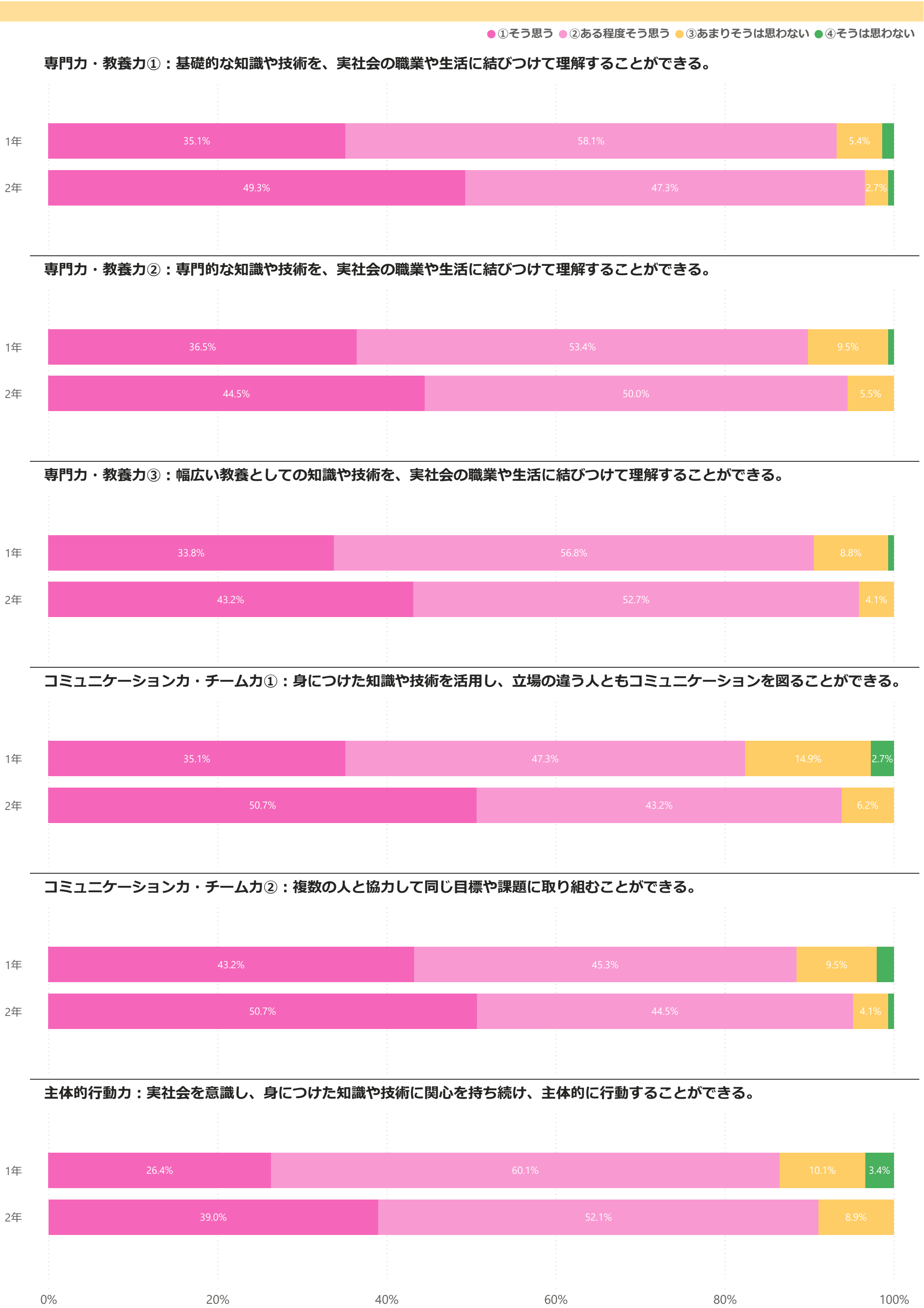
▶大学教育を通じて、もっと身に付けたかった知識や能力などを選択してください（複数選択可）
2年生のみ



▶卒業時まで身に付けるべき知識や能力（ディプロマ・ポリシー）の達成度について伺います。本学での学生生活によって、以下の知識や能力、スキルや態度がどの程度身についたと思いますか。

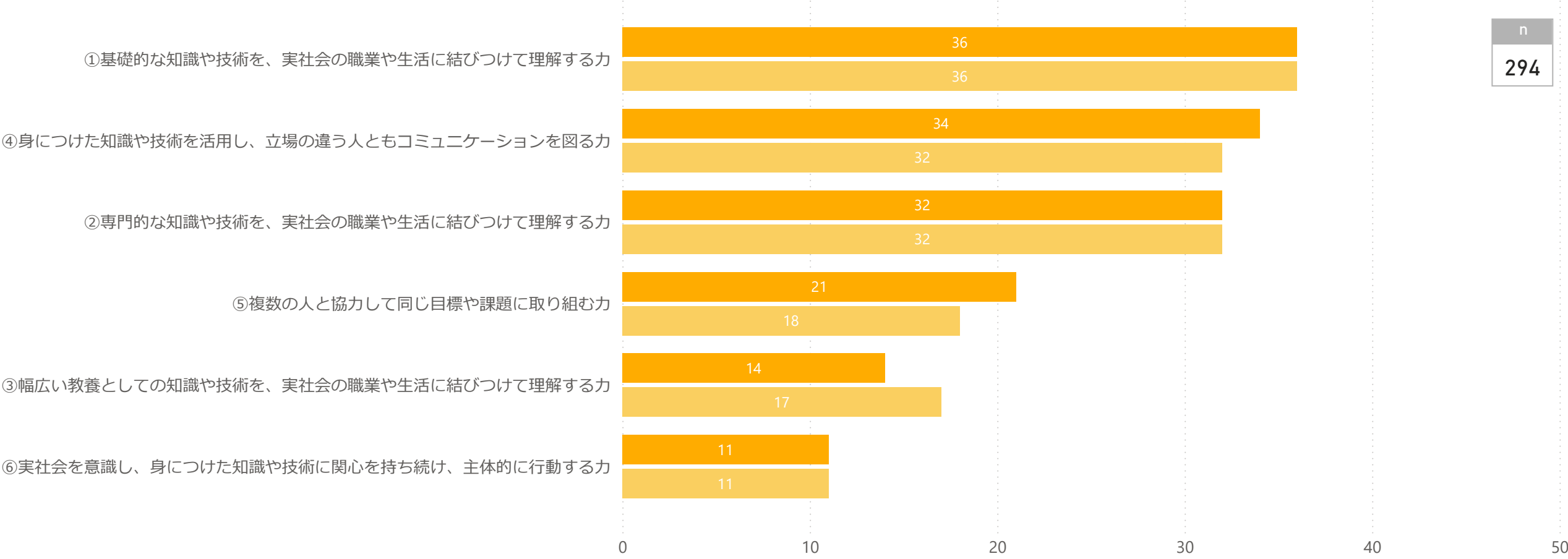
回答者数	
1年	2年
148	146

- 学科
- (空白)
- 経情
- 商

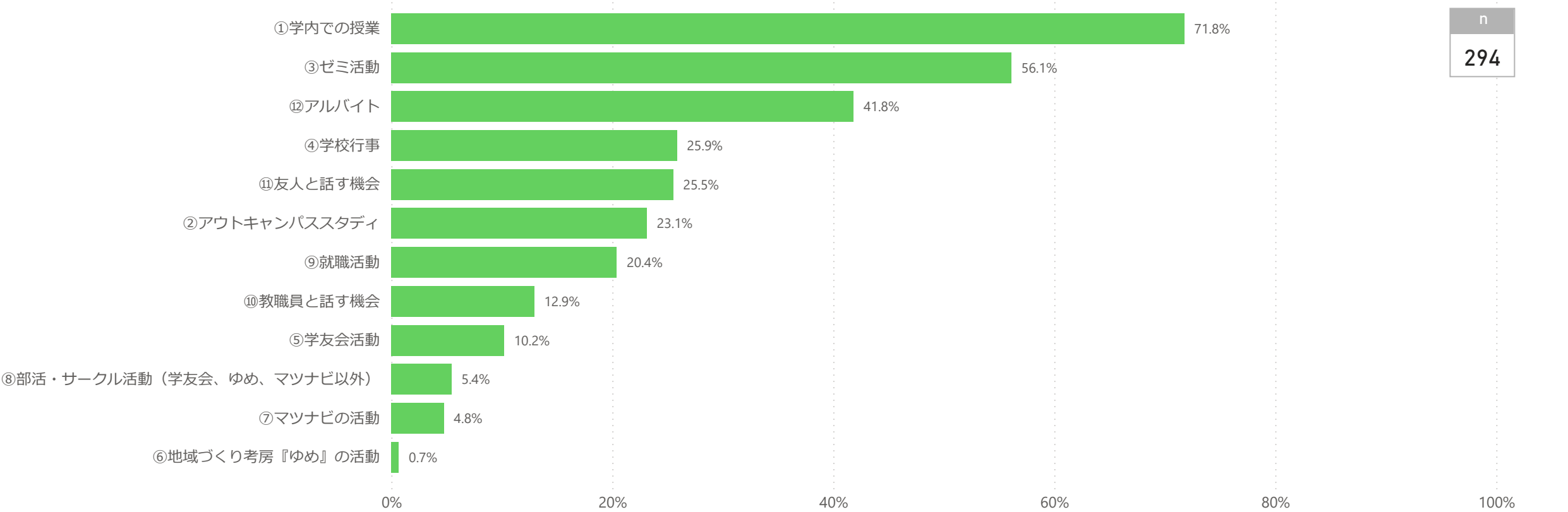


卒業時まで身に付けるべき知識や能力（ディプロマポリシー）の内、これまでの学生生活で最も身に付いたと思うものを選んでください

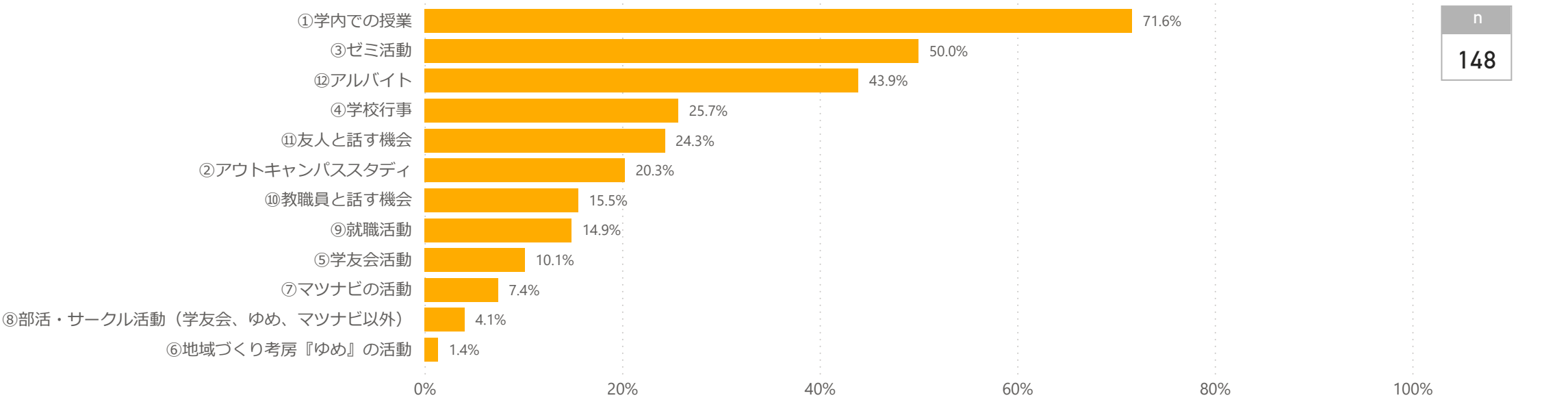
●1年 ●2年



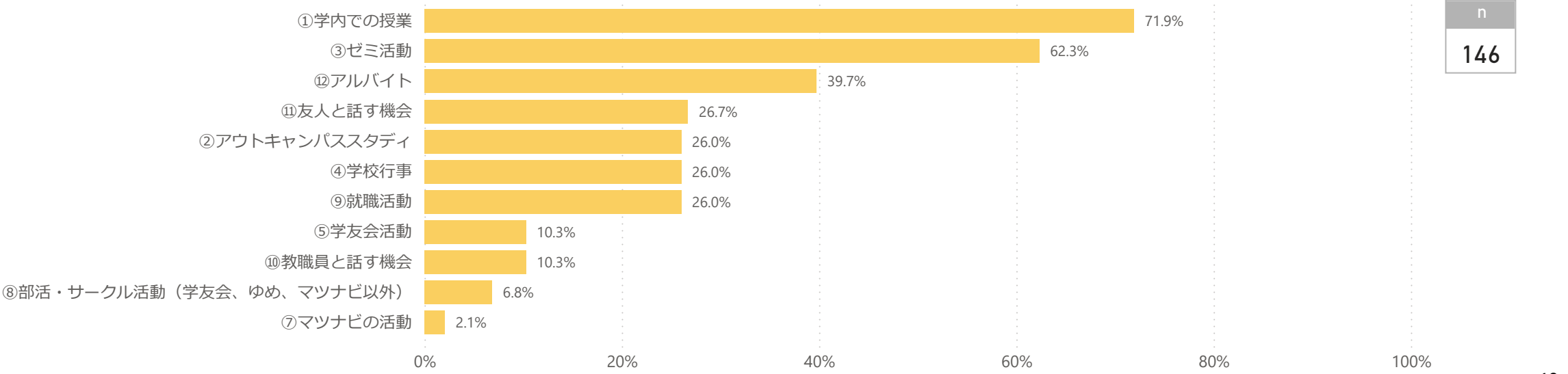
その知識や能力を身に付けるのに、影響を与えているものを選択してください（複数選択可）



1年



2年



▶これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

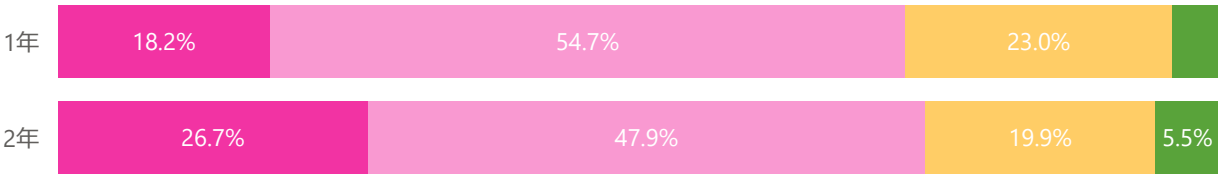
卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



教職員が熱心に教育に取り組んでいる

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



大学の学びによって成長を実感している

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



教職員を身近に感じる

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



(これまでの学生生活全てを振り返って) 学校に居場所があると感じる

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



短大での学びは、進路選択の役に立った (2年生のみ)

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



将来のライフプランやなりたい姿が具体的にイメージできている (2年生のみ)

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



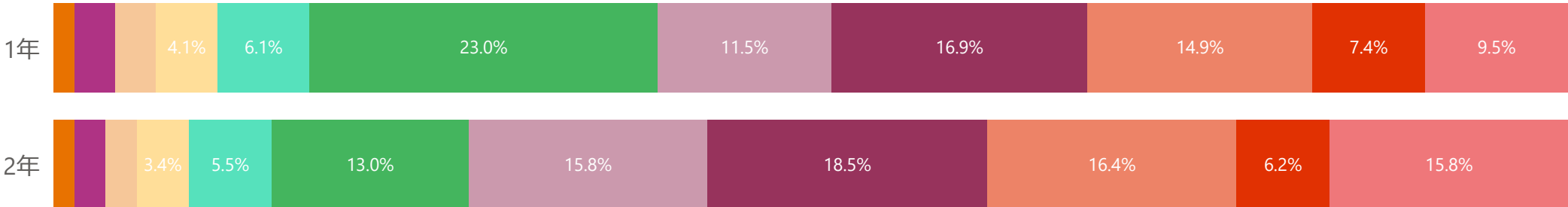
(これまでの学生生活全てを振り返って) 松商短大に入学してよかった (2年生のみ)

①そう思う ②ある程度そう思う ③あまりそうは思わない ④そうは思わない



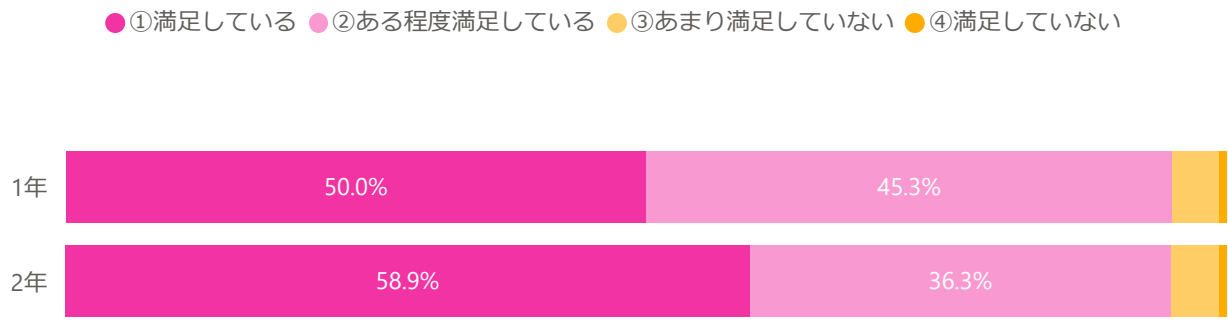
あなたは松本大学を家族や親しい友人・知人にどの程度すすめたいと思いますか

①0 (全くすすめできない) ②1 ③2 ④3 ⑤4 ⑥5 ⑦6 ⑧7 ⑨8 ⑩9 ⑪10 (とてもすすめできる)

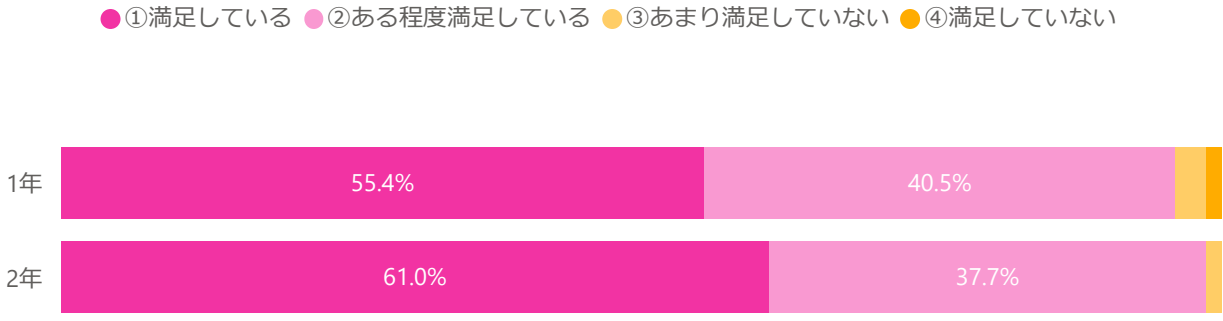


▶これまでの大学生活において、次の項目の満足度を教えてください。

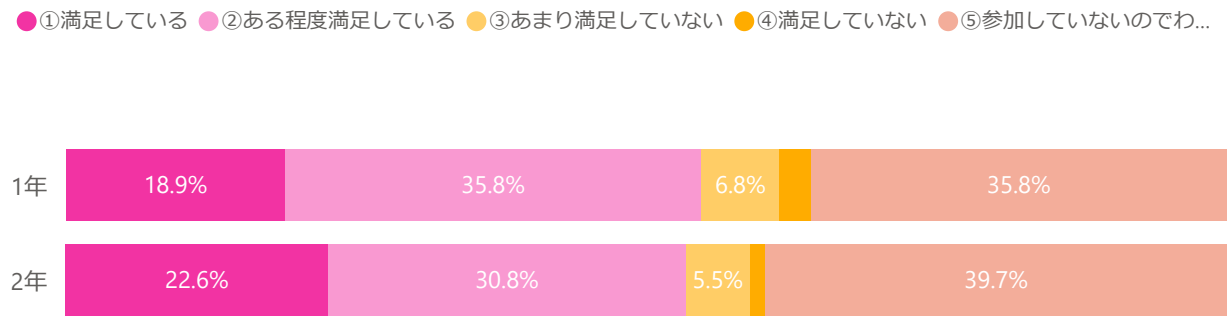
必修（松商ブランド等）の授業



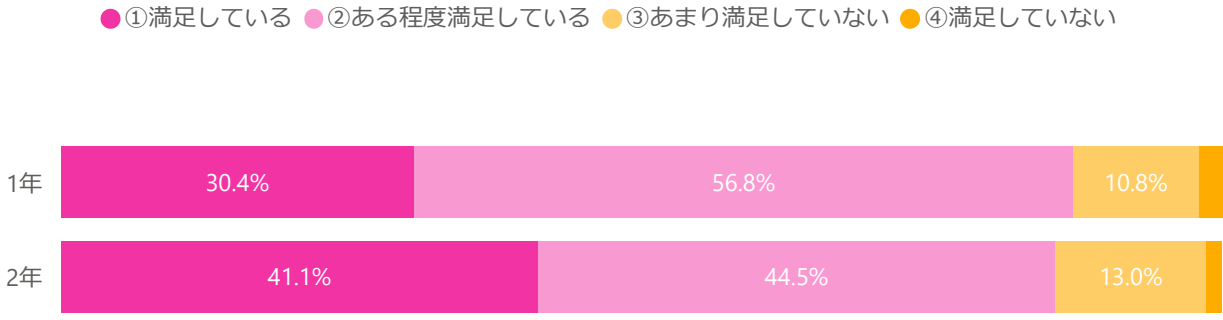
必修以外の授業



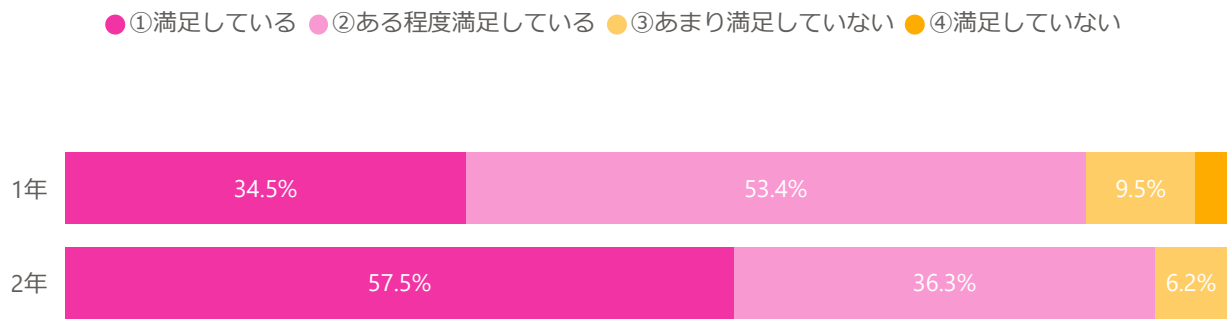
課外活動（部活・サークル、学友会、ゆめ、マツナビ など）



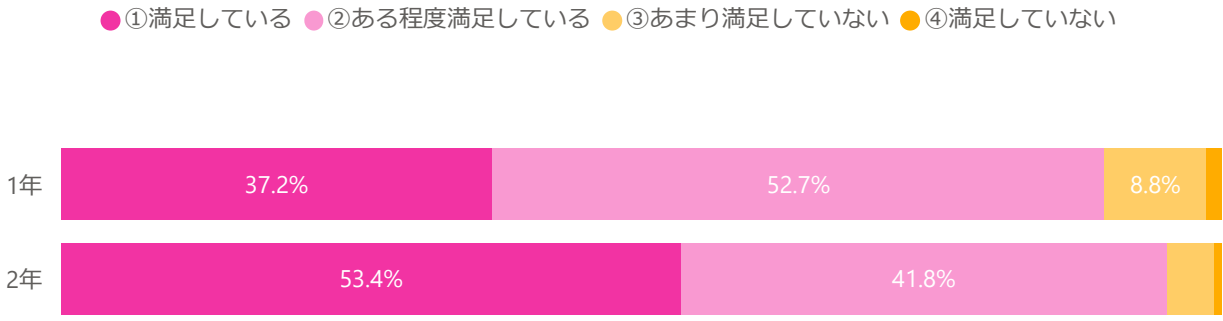
施設・設備等を含む学修環境全般



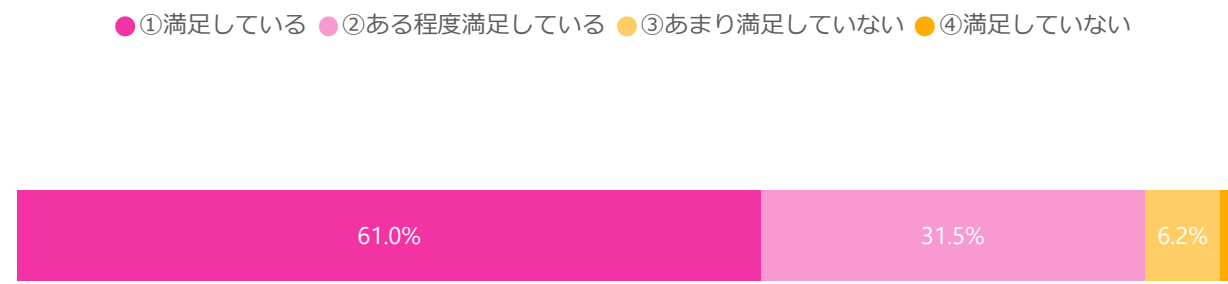
就職や進路に対する支援



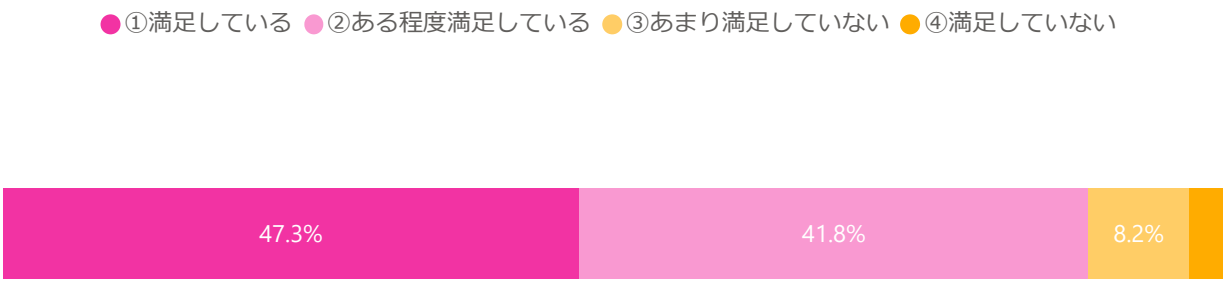
教職員による指導・サポート



ゼミ担当教員による指導・サポート（2年生のみ）



卒業後の進路（2年生のみ）



学生生活全体

